

## 平成26年度 部局長マネジメント方針

きたぐち えつじ  
消防局長 北口 悦司



### 私の決意

昨年は、各地で記録的豪雨が発生し、9月には、台風18号により8月30日から気象庁が運用を開始した「大雨に関する特別警報」が京都府、福井県、滋賀県に初めて発表され、京都の桂川が増水し、観光地として有名な嵐山渡月橋で越水する状況が大きく報じられました。さらに、10月には台風26号が伊豆大島を襲うなど全国各地で甚大な被害が発生しました。また、長崎市のグループホームや福知山市の花火大会、福岡市の有床診療所などの火災では多くの方の尊い人命が失われました。

このように、近年の災害は、社会情勢や地球環境の変化といった様々な要因により、複雑多様化、大規模化しており、特に自然災害については年々増加傾向にあるほか、近い将来、南海トラフ巨大地震等の発生も危惧されております。

このような中、消防局では消防に対する市民ニーズや社会情勢を的確にとらえ、様々な課題に適切に対応し、「市民の生命、身体及び財産を火災等の災害から守る。」という消防の使命を達成しなければならないと考えております。このために消防局では、消防力の充実並びに先見性と使命感に裏付けられた幅広い知識を持った人材を育成し、信頼される力強い消防組織を構築するとともに、地域防災の担い手であります消防団と連携を強化し、消防局の組織方針であります「市民生活の安全確保」に職員一丸となって邁進する所存でありますので、市民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。